

食料経済学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 高柳長直

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

この授業の到達目標は、食料問題を地理学的視点から研究できる基礎を身につけることである。そのため、実際に文献を収集して予習を行い、それに基づいて討論を行う。また、具体的なデータを収集して、グラフや地図に加工しながら、議論を行うことができるようにする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

食料問題

食品流通

食品産業

食料消費

アグリビジネス

マーケティング

法制度

食文化

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の 内容と分量
1	食料問題の地理学	目的と授業の進め方	導入
2	地図の読解	主題図の読み方	レジュメの作成(8頁)
3	地図の作成	主題図の作成方	〃
4	産地の形成	農産物産地の形成, 集積のメリット	〃
5	立地条件	農産物産地の立地条件	〃
6	地域ブランド	地域ブランド	〃
7	都市化と農業	都市化に伴う農地の変化	〃
8	都市化と食料	都市化と食料需給	〃
9	農業貿易と食料	農産物・食品の貿易	〃
10	食料をめぐる制度	国際的な制度変更	〃
11	食品産業	食品産業の立地	〃
12	6次産業化	生産の社会的分業	〃
13	食品流通	小売店の立地, ロジスティクス	〃
14	外食産業	チェーン展開論	(毎回の準備・復習は
15	まとめ	各自の研究テーマと結びつける	2~3 時間程度が目安)

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

フードシステムの空間構造論／高柳長直／筑波書房 (2006)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業時に指示する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題のプレゼンテーション 30%, 授業中のディスカッション 70%

◆オフィスアワー

月曜日 12:15~12:50 など

◆その他受講上の注意事項

授業の進行については一例であり、具体的には最初の授業時に受講者と相談の上、決定する。